

EXCLUSIVE TRAVELER GUIDE

# フィリピン旅行 究極の裏情報ガイド

観光情報の一歩先へ。エリア別の具体的戦略とローカル・インサイダー情報。

# マニラ

歴史と現代の絶対的格差

# イントラムロス：竹自転車で巡る裏路地

ただ歩くだけではマニラの歴史は半分も見えません。

- 「**Bambike (竹製自転車)**」のレンタルが必須。**馬車では入れない狭い路地**にこそ、スペイン時代の面影が濃く残ります。
- **サン・アグスティン教会**は外観だけでなく、併設の博物館が圧巻。ヨーロッパの修道院に迷い込んだような錯覚を覚えます。
- ランチは「**Barbara's**」のブッフェー択。**伝統舞踊を見ながら**19世紀の貴族のような食事が楽しめます。



# BGC：フィリピンのイメージを覆す富裕層街



## 絶対的な治安

BGC（ボニファシオ）内は、マニラの他地域とは法規が異なります。ジプニーの進入が禁止されており、夜間でも女性が一人歩きできる驚きの治安です。



## ストリートアート

街中が巨大なキャンバス。建物の壁面に描かれた巨大壁画を探すウォーキングツアーがSNS映えの秘訣。最新カフェとの融合が楽しめます。



## Grabの活用

移動は100%**Grab（配車アプリ）**。流しのタクシーはぼったくりの温床。目的地を入力する手間と安心感には代えられません。

# セブ島

海中ワンダーランドの法則

# オスロブ：早朝6時到着 の鉄則

ジンベエザメと泳ぐなら、「**早朝6時前**」に現地入りすることが成功の鍵です。

**7時を過ぎると世界中からの団体客で3~4時間待ち**になります。さらに、サメの餌付けが終わる昼前には透明度が極端に落ちるため、ベストショットは朝一にしか存在しません。

**注意：**日焼け止めの使用は厳禁。**環境保護ルールが非常に厳しい**ため、ラッシュガードの持参を強く推奨します。



# モアルボアル：岸から0分の奇跡



## 「イワシの銀壁」を独り占め

多くの方がボートを出しますが、実は**パナグサマ・ビーチ**の岸からわずか数メートルで遭遇可能。**ドロップオフ（海底の崖）**に沿って数百万匹のイワシが壁のように群れています。

**ウミガメ**との遭遇率も90%以上。早朝の満潮時に行けば、**浅瀬で海草を食べている姿**をシュノーケルで間近に見られます。

---

# ボラカイ & パラワン

究極の透明度を求めて

# ボラカイ：ステーション別の戦略的選択

## ステーション1&2

ステーション1は粉雪のような砂質。**高級リゾート専用**の**プライベート感**があります。ステーション2はD'Mallに近く、夜まで音楽が鳴り響く中心地。利便性重視ならここです。

## ディニウィッドの隠れ家

喧騒を嫌うなら北端のディニウィッドへ。**崖を削って作った小道**を通って行く秘密の入り江があり、夕日を静かに眺めるための最高のバーが隠れています。

# パラワン：最後の秘境「エルニド」の攻略



## ツアーA：ビッグラグーン

ビッグラグーンは入場制限あり。前日までに枠を確保しないと入れないことも。カヤックで静寂の岩間を抜ける体験は唯一無二。



## 地底河川クルーズ

プエルトプリンセサから3時間。コウモリの鳴き声が響く巨大な洞窟を、手漕ぎボートで進むスリルはまさにインディ・ジョーンズの世界。



## コロン：沈没船ダイブ

第二次世界大戦時の旧日本軍の沈没船が十数隻眠る聖地。透明度が高く、ダイバーなら一生に一度は訪れるべき場所です。

# 穴場：バタネス諸島の圧倒的景観

# 100%

異国情緒・満足度

## フィリピンの「ニュージーランド」

台湾に最も近い**バタネス諸島**は、他の島々とは全く異なる景観。**石造りの家と延々と続く緑の丘**。航空券は高いですが、観光客が極端に少なく、フィリピンの真の静寂を知ることができます。

**ダバオ**の「ドリアン・パーク」もお忘れなく。**市長が自ら治安を強化**した、フィリピンで最も安全かつ果実の豊かな都市です。